

2012年5月30日
郵便局株式会社—旧東京中央郵便局敷地再整備計画—
「JPタワー」の竣工について

郵便局株式会社（東京都千代田区、代表取締役会長 古川 治次）が、旧東京中央郵便局敷地（千代田区丸の内二丁目7番2号）において東日本旅客鉄道株式会社、三菱地所株式会社と共同で再整備計画を進めてきました「JPタワー」は、5月31日に竣工いたしますので、お知らせいたします。

日本郵政グループの不動産事業として第一号の大規模案件となるJPタワーは、JR東京駅に直結する高い利便性、丸の内周辺地区の歴史的景観への貢献、都市に関する多彩な情報・文化の受発信、及び環境・防災への配慮などを特徴とする、延床面積約212,000m²の最新プロジェクトです。

建物高層部は、ガラスカーテンウォールによる先進的なデザインのオフィス棟とし、1フロア3,000m²超と丸の内エリア有数のゆとりある高品質な執務空間を提供します。

建物低層部は旧東京中央郵便局舎を一部保存し、東京駅前地区の風格ある歴史的景観を継承しながら、賑わいのある魅力的な都市空間の形成に貢献しています。低層棟内部には、魅力ある商業施設のほか、国際カンファレンスセンター（「JPタワーホール&カンファレンス」）、国際ビジネス・観光情報センター（「東京シティアイ」）及び学術文化総合ミュージアム（JPタワー学術文化総合ミュージアム「インターメディアテク」）が配置され、多彩な都市情報・文化の受発信の拠点となるべく開業準備を進めています。

なお、上記施設を含むJPタワー全体のグランドオープンは2013年春を予定しております。

郵便局株式会社では、今後もグループの健全経営を確保し、郵便局ネットワークの維持に資する観点から、自社所有土地の有効利用を基本としたビル開発プロジェクトを推進してまいります。

以上

<お問い合わせ先>

■JPタワーについて

| 【報道関係の方のお問い合わせ先】 | 【報道関係以外の方のお問い合わせ先】 |
|-----------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------|
| 郵便局株式会社 経営企画部 涉外室（報道担当） 電話：03-3504-4127（直通） FAX：03-3508-9736 | 郵便局株式会社 不動産部 ビル運営室 電話：03-3504-4204（直通） FAX：03-3581-5820 |

JPタワーの情報はホームページ（<http://www.jptower.jp>）にて順次更新してまいります。

別紙

JPタワーの特徴

(1) 歴史的景観の継承

JR東京駅前広場に面する部分を中心に旧東京中央郵便局舎を一部保存することで歴史的景観を継承し、JR東京駅丸の内駅舎と一体となった首都東京の顔を形成します。

旧東京中央郵便局舎の保存部分は免震構造とすることにより、耐震壁の増設を最小限に留めつつ耐震性を高めています。

1階郵便局窓口ロビー等においては、内部仕上げを含めて保存するとともに、郵便局、都市情報及び文化の受発信拠点、商業施設の一部を旧東京中央郵便局舎の保存部分に配置することで、歴史的建物の内部空間を活用しています。

(2) 環境への配慮

(高層棟)

Low-eガラス、エアフローウィンドを採用した床から天井まで1枚ガラスの窓（フルハイド窓）及び庇の設置により高い快適性と環境負荷低減を両立します。

外気を利用した冷房設備と室内のCO₂濃度をセンサーで感知し外気取入れ量を制御するシステムを採用しています。

(低層棟)

日射熱を遮蔽し、太陽光を電力に変換するシースルー型太陽光発電トップライトを採用しています。屋上を積極的に緑化し、庭園として開放することで、建物利用者に憩いの場を提供します。

地中熱を利用した冷暖房設備を採用しています。

(3) その他

(高機能かつ快適な執務空間を提供するオフィス)

1フロア3,000m²を超える丸の内エリア最大級の事務所空間を提供します。

フロアは整形なコの字型平面とし、コーナー部は柱をなくし、開放感のある居室空間を演出しています。

天井高は2,950mm、OAフロア高さは150mmを標準仕様としています。

(多様な都市機能の整備)

都市情報及び文化の受発信拠点として、国際カンファレンスセンター（「JPタワーホール&カンファレンス」）、国際ビジネス・観光情報センター（「東京シティアイ」）及び国際的な学術・文化の総合ミュージアム（JPタワー学術文化総合ミュージアム「インターメディアテク」）を設置します。

低層棟部分には、大きな吹き抜け空間とその周囲に約9,000m²の商業施設を整備し、丸の内に新たな賑わいを演出します。

(歩行者ネットワークの拡充)

建物の中央部には吹き抜け空間を利用した都市の情報広場と南北方向の屋内歩行者通路、また、計画地南側の東西方向には緑地と一体化した屋外歩行者通路を整備し、丸の内地区の回遊性の向上を図ります。

また、歩行者の利便性を高めることを目的として、JR東京駅前地下通路を整備するとともに、2013年春にはJR東京駅と有楽町方面を結ぶ南北方向の地下歩行者通路が開通する予定です。

【デザイン、装飾等で御協力をいただいた方々（敬称略）】

Murphy/Jahn（ヘルムート・ヤーン）

提携建築家

隈研吾建築都市設計事務所（隈 研吾）

商業施設内装デザイン

PLACEMEDIA（宮城 俊作）

ランドスケープアーキテクト

内原智史デザイン事務所（内原 智史）

商業環境照明デザイン

岩井達弥光景デザイン（岩井 達弥）

ランドスケープ照明デザイン

千住 博

オフィスエントランスロビー 展示アート制作

挾土 秀平

オフィスエントランスロビー 漆喰壁制作



- ・ 所 在 地 : 東京都千代田区丸の内二丁目7番2号
- ・ 敷地面積 : 約 11,600 m²
- ・ 延床面積 : 約 212,000 m²
- ・ 階 数 : 地上38階、地下4階、塔屋3階
- ・ 高 さ : 約 200 m
- ・ 事 業 主 : 郵便局株式会社、東日本旅客鉄道株式会社、三菱地所株式会社
- ・ 設計監理 : 株式会社三菱地所設計
- ・ 施 工 : 大成建設株式会社

アクセス

- ・ JR東京駅 徒歩約1分
- ・ 丸の内線東京駅 地下道より直結
- ・ 千代田線 二重橋前駅 徒歩約2分
- ・ 三田線大手町駅 徒歩約4分
- ・ JR京葉線 東京駅 徒歩約3分
- ・ 有楽町線 有楽町駅 徒歩約6分
- ・ JR有楽町駅 徒歩約6分

